

平成30年度M I E職員カアワード発表会での知事・副知事審査結果と職員セレクト賞、来場者セレクト賞結果

連絡先:総務部行財政改革推進課  
 担当者:福井、中村、富山  
 電話番号:059-224-2231

表彰種別	分野	部門	部局名	活動テーマ	グループ名	取組概要
グランプリ（改善活動分野） （M I E職員カアワード発表会の当日、「部門賞」受賞取組の中から、知事・副知事が自らの審査で選定した取組）	改善活動分野	自由テーマ部門	地域連携部	4県共同でのボート規格艇整備 ～国体開催経費の削減に向けて～	国体競技・式典課 競技班	<p>国体のボート競技では、選手が使用する規格艇（76艇）を開催県が整備するルール（配艇制度）となっており、艇の使用年数制限（原則3年）があることから、整備には莫大な経費（約1.2億円）が必要で、大きな負担であった。</p> <p>この経費を削減するため、鹿児島県（2020年）、栃木県（2022年）の国体開催県に加え、使用年数制限の特例適用を要請し、震災復興で財源不足だった熊本県（2019年度インターハイ）を含めた4県共同で整備を行うこととした。</p> <p>入札の結果、本県の負担額は約1030万円となり、1県で整備した場合の約1.2億円から大幅に削減できることになった。</p>
グランプリ（グッドパフォーマンス分野） （M I E職員カアワード発表会の当日、「部門賞」受賞取組の中から、知事・副知事が自らの審査で選定した取組）	グッドパフォーマンス分野	モハン部門	県土整備部	防災砂防課におけるGIS活用の取組	防災砂防課GIS活用チーム	<p>事業者や県民からの問い合わせが多い、砂防指定地などの法定区域の確認について、紙媒体からM-GISを活用したデータベースの構築に取り組んだ。</p> <p>担当者の負担軽減はもちろん、関係機関とのデータ共有による地域全体への波及効果は非常に大きいと考えられ、コストに関しても、既存のプラットフォームであるM-GISの活用により、無償で構築した。</p> <p>問題意識、手段、コストパフォーマンスの観点から素晴らしい取組であり、推薦する。</p>
職員セレクト賞 （「部門賞」受賞取組の中で、職員の支持を最も集めた取組）	改善活動分野	協創推進部門	部局横断	いざ、紀ノ国へ。高校生と創るインバウンドツアー ～Let's go to Kinokuni～	紀北はまち座	<p>紀北地域の若手県職員でつくる「紀北はまち座」は、日々の業務と並行して、多様な地元住民と連携した地域活性化活動に取り組んでいる。</p> <p>その一環として、今年度、人口減少が続く紀北地域の「魅力」を知ってもらい、多くの人を呼び込むため、地域の未来を担う尾鷲高校の生徒等と連携し、県内在住の外国人を対象にした紀北地域の観光ツアーを企画・実施した。</p> <p>高校生が主体的に取り組み、ツアー内容の企画や勉強会の開催等を通じて、地域を学び考えるきっかけとなった。また、外国人25名の参加があり、参加者のSNSを通じて、約6000名に紀北地域の魅力が発信されたほか、「The Japan News」（英字新聞）にも掲載されるなど、全国の日本在住外国人にも発信された。</p>
来場者セレクト賞 （M I E職員カアワード発表会の当日、「部門賞」受賞取組の中で、県職員以外の会場来場者の支持を最も集めた取組）	改善活動分野	成果向上部門	総務部	県税窓口で外国人との意思疎通をスムーズに！	鈴鹿県税事務所 納税課	<p>鈴鹿県税事務所の窓口には、外国人が多く来所するが、職員と意思疎通がスムーズにできず、納税相談が長引くことがあった。</p> <p>そこで、納税相談でよく使われる用語や文章をまとめた外国語版の「指さし案内表」を作成した。言語は、ポルトガル語、スペイン語、英語の3か国語とした。</p> <p>「指さし案内表」を活用し、指さして税の情報を伝えることで、外国人来所者との意思疎通が容易になり、窓口での対応時間が短縮された。</p> <p>この取組により、県民サービスの向上と業務の効率化を図ることができた。</p>